

日本近代文学のはじまりと展開

明治時代半ばの日本近代文学のはじまりから、昭和初期の日本近代文学の展開までを解説します。取り上げるのは、坪内逍遙、二葉亭四迷、夏目漱石、芥川龍之介、谷崎潤一郎、志賀直哉、という日本近代文学を代表する文豪たちです。日本近代文学の始まりと日本近代文学の展開という二回に分けてお話ししますが、一回目と二回目のつながり、はじまりと展開のつながりについて考えてみることを目標です。

9月11日(水)

14時00分
～15時30分

① 〈こころ〉の奥深くを描くこと

日本近代文学の出発点は坪内逍遙の「小説神髓」です。逍遙は「人情」の「骨髓を穿つに及び、はじめて小説の小説たるを見る」と主張し、日本で最初の小説である二葉亭四迷の「浮雲」を生むことになりました。英語と英文学の影響の下、坪内逍遙の「小説神髓」から夏目漱石の「こころ」まで、心の深層の描写という道筋をたどります。

9月18日(水)

14時00分
～15時30分

② 芥川龍之介、谷崎潤一郎、志賀直哉、文豪たちそれぞれの道

大正の後半から昭和の初めは日本の近代化が広く形になって現れてきた時代でした。昭和二年の芥川と谷崎による「小説の筋論争」は、二人が志賀直哉を念頭におきながら、〈文学とは何か〉について見つめなおすことだったとも言えます。この論争を中心に、芥川龍之介、谷崎潤一郎、志賀直哉という文豪たちのそれぞれの文学観について考えます。

■ 会 場：廿日市市役所 7階 会議室

(廿日市市下平良1-11-1)

■ 講 師：県立広島大学 国際文化学科 教授 遠藤伸治

■ 受講料：無料

■ 募集人数：50人程度（申し込み多数の場合抽選）

■ 申込方法：往復はがきにて、下記へ郵送してください。（裏面参照）

* なお、往復はがき以外での申込受付はできません。

* お申込は、はがき1枚につき1名でお願いします。

■ 申込締切：8月26日(月) 必着

■ 申込先：廿日市市生涯学習推進本部

〒738-8501 廿日市市下平良1丁目11番1号

廿日市市教育委員会 生涯学習課 内

TEL (0829)30-9203 (直通)

FAX (0829)32-5163



坪内逍遙
(1859～1935)



二葉亭四迷
(1864～1909)



夏目漱石
(1867～1916)

【往復ハガキ記入要領】

●往復はがきに必要事項を明記し、郵送してください。

◎ 往 信(〒738-8501 廿日市市役所生涯学習課 行(住所不要))

裏面には「県立広島大学 文学講座受講希望」, ①名前 (ふりがな), ②郵便番号, ③住所, ④電話番号を記入してください。

〒738-8501
廿日市市役所
生涯学習課 行

「県立広島大学 文学講座受講希望」
(フリガナ)
① 名前
.....
② 〒
.....
③ 住所
.....
④ 電話番号
() -

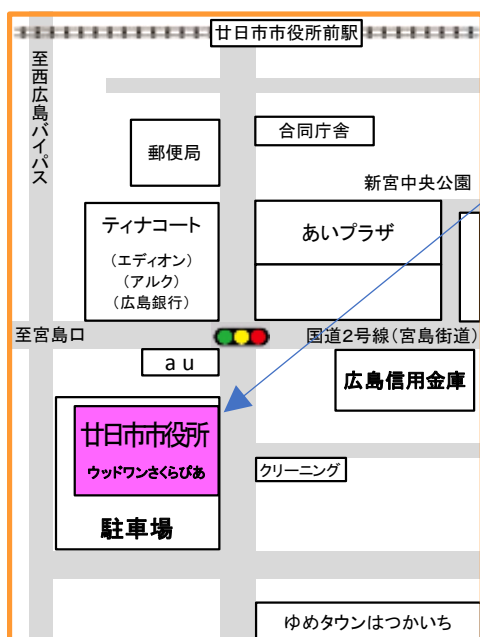
- * お預かりした個人情報は、本事業の運営目的以外には、一切使用いたしません。
- * この記入用紙を切り取ってご使用ください。
- * インクが消える筆記用具（フリクション等）での記入はお避けください。
- * 受講の可・不可につきましては、締切後の返送になります。

◎ 返 信

表：必ずご自宅の郵便番号・住所・名前をお書きください。
お名前の後ろには、「様」をお書きください。

裏：記入不要です。こちらで受講の可・不可等を記載して返送いたします。

<会場周辺図>



廿日市市役所 7階 会議室 (廿日市市下平良1-11-1)

* 駐車場に限りがあります。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

<交通案内>

- JR 宮内串戸駅下車徒歩約 13 分または JR 廿日市駅下車徒歩約 15 分
- 広電廿日市市役所駅下車徒歩約 5 分
- 広電バス可愛バス停下車約 2 分
- 廿日市さくらバスあいプラザバス停下車すぐ

主催：県立広島大学地域連携センター
廿日市市教育委員会
廿日市市生涯学習推進本部